



選ばれて 住み継がれるまち とおかまち

— 十日町市 —

十日町市はこんなところ

新潟県の南部に位置し、市の中央部には信濃川が南北に流れ、雄大な河岸段丘が形成されています。山間部には、棚田やブナ林などの美しい里山の原風景が広がっています。

日本でも有数の豪雪地帯として知られる十日町市ですが、豊かな自然と共存する中で特色あふれる歴史・文化や産業を育んできました。これらの歴史・文化・産業は、古来から現在まで脈々と受け継がれ、多くの人たちを魅了しています。



つなぐ棚田100選「星峠の棚田」



きものまつり

「大地の芸術祭」の里

「大地の芸術祭」は、十日町市と津南町からなる越後妻有地域で、2000年から開催される世界最大級の国際芸術祭です。広大な里山全体を美術館に見立て、作家と地域住民が協働で地域に根ざした作品を展開しています。アートを道しるべに里山を巡る旅は、「アートによる地域づくり」の先進事例として国内外から注目されています。



マ・ヤンソン/MADアーキテクト
「Tunnel of Light」 (清津峡渓谷トンネル内)

日本遺産に認定された文化・伝統

文化庁は地域の歴史的魅力や特色を通じ、日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」に認定しています。十日町市には「『なんだ、コレは!』信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化」と「究極の雪国とおかまち—真説!豪雪地ものがたり—」の2つのストーリーが日本遺産に認定されています。



国宝 火焰型土器



越後の奇祭「むこ投げ」

環境にやさしく自然と調和するまち

脱炭素・循環型社会を目指す取り組みとして、ごみの減量化・再資源化の推進と、太陽光・水力などの自然エネルギーや、森林資源などのバイオマス資源を活用した再生可能エネルギーの創出に取り組んでいます。そのほかにも森林整備による二酸化炭素の吸収など、幅広い分野での取り組みを進めて、2050年の「ゼロカーボンシティ・十日町市」の実現を目指します。



日本三大薬湯松之山温泉の蒸気や熱水を活用した地熱バイナリー発電所「コミュニティ発電 ザ・松之山温泉」

出向くケアと医療

安全・安心な医療・看護・介護などのサービスを提供できるように、新潟大学寄附講座などと連携して「出向くケアと医療」の仕組みづくりに取り組んでいます。中山間地を多く抱え、医療介護資源の少ないこの地域では、病院や施設だけでなく、住み慣れた自宅で療養できる体制が求められるため、令和3年7月に念願となる「十日町市立訪問看護ステーション『おむすび』」を開設しました。



山に暮らし、雪にまなぶ「雪里留学」

小中一貫校「まつのやま学園」では、自然豊かな環境の中でふるさとについて学習する「まつのやまタイム」など、小学校から中学校までの9年間を通して、特色ある教育に取り組んでいます。また、学区外・区域外から就学できる「雪里留学」も実施し、雪国ならではの自然・生活体験に根ざした学習や活動を経験してもらうことで、子どもたちの「豊かに生きる力」を伸ばしています。



Uターン・Iターンの推進

コロナ禍で関心が高まる地方移住。十日町市では、U・Iターン者へ住宅取得補助や、テレワーク設備費用助成などのさまざまな支援を実施しています。令和4年4月には、移住相談の総合窓口となる「十日町市移住コンシェルジュ」を開所し、U・Iターン検討者に対して、SNSを活用した情報発信、雪国の暮らしや支援制度の紹介など、きめ細やかな移住支援に取り組んでいます。

